

国道54号祇園新道における

被爆樹木（クスノキ）の樹勢回復措置の実施について

1. 取組みの概要

広島国道事務所では、国道54号祇園新道（広島市中区白島北町）において、平成19年7月10日に行われた被爆樹木の健全度調査による調査結果に基づき、被爆樹木の剪定及び施肥等、樹勢回復に必要な対策を実施します。

【参考】被爆樹木の樹勢回復措置に関する経緯

- ・平成18年7月5日
健全度調査を実施。当該箇所における被爆樹木12本全てが生育不良であり、何らかの手当てが必要であると診断
- ・平成18年8月22日
樹木医の先生にご指導いただきながら、樹木の生育を妨げる要因ともなる不要枝（胴吹き、ヒコバエ、枯れ枝等）の剪定及び、樹勢が弱っている樹木に施肥を実施。
- ・平成19年7月10日
手当てから1年が経過し、追跡調査として健全度調査を実施。
被爆樹木の樹勢について大幅な改善が見られるが、未だ十分とはいえないため、引き続き手当てを実施していくことが必要であると診断

2. 実施内容

(1) 日時

平成19年7月31日(火)より数日間(実施予定時間 10:00～16:00 小雨決行)

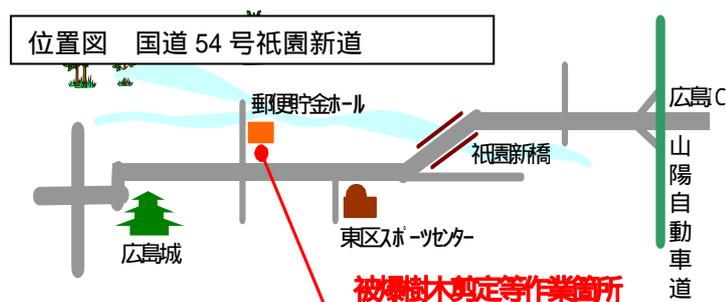
(2) 場所

国道54号祇園新道 広島市中区白島北町（郵便貯金ホール東側）

(3) 作業者

広島県樹木医会会長 溝口 幸平太
広島県樹木医会副会長 堀口 力
広島国道事務所 可部国道出張所
植樹管理業者 みずえ緑地(株)

健全度調査状況



調査結果概要(経緯)

H18.7.5 調査結果

(良): 0本
(やや不良): 6本 1,2,3,5,6,10
(不良): 4本 4,7,9,12
(著しく不良): 2本 8,11
(枯死寸前): 0本



H18.8 対策実施

不要枝剪定・施肥等



H19.7.10 調査結果

(良): 3本 1,3,10
(やや不良): 9本 上記以外
(不良): 0本
(著しく不良): 0本
(枯死寸前): 0本

健全度
大幅改善



引き続き手当てを実施(今回対策)